



夢・いっぱい

第10号

令和2年12月24日

○ 2020年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

落ち着いた学校生活からみえてくるもの

校長 原田 剛

例年よりも1週間長い2学期が終わろうとしています。

各学年の社会見学や5年生の自然教室、そして6年生の音楽発表など、感染症予防対策をしながらその方法を検討し、実施することができました。保護者の皆様には、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。学校行事は縮小されましたが、子どもたちは1学期にも増して、落ち着いた態度で日々の学校生活を送ることができています。

さて、様々な行事が縮小される中、子どもたちは限られた空間で限られた学習方法や活動に取り組むことが多くなります。そこで、学校生活においては、子どもたちが目標をもって取り組むことで、その充実をめざそうとしています。例えば、縄跳びや自主学習などに目標を設定すること(短期目標)。また、6年生であれば、卒業時の自分を具体的に思い描き、その姿を実現するために努力していくこと(長期目標)などです。これらの目標設定は、コロナ禍でなくとも学校生活の中で取られてきた方法です。しかし、先が見えない状況にあるからこそ目標を大切にし、自身の成長を実感することが大切です。子どもたちの「未来」を思い描く力を培っていくことで、未知なるものに打ち勝つ「愛宕の子」を育てていきたいものです。

保護者のみなさまにおかれましては、家庭生活でも可能な目標設定にお取り組みいただき、子どもたちの成長を見つめる機会とされてはいかがでしょうか。

新年も「愛宕の子」のために、みなさまのお力添えをよろしくお願いたします。よいお年をお迎えください。



今季初の寒波の中 運動場で元気に遊ぶ子どもたち

☆「GIGA スクール構想」実現に向けた環境整備が始まります

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する
 - ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す
- ※文部科学省パンフレットより

「GIGA スクール構想」とは、上記の目標を実現するための国の施策です。簡単に言えば、子ども一人ひとりが1台の端末をもち、子どもの状況に応じて学習できる環境を整備し、活用していこうとするものです。特に、コロナ禍にあっては、休校等の措置がとられても家庭で学習できる環境が求められるようになったことから、当初より前倒しでその整備が進められることとなりました。

岩国市の小学校においては、1・2年生は既存の端末(iPad)を使うこととし、3年生以上の端末が今年度中に整備される予定です。さらには、今後、災害や感染症の発生等も想定し、家庭に持ち帰って使用することも可能となるかもしれません。そうした準備のため、本校でも、年明けから各教室に充電保管庫の設置が始まります。

整備後の日常の授業では、新しい文房具の一つとして定着していくことが望まれます。将来的には、これまで使ってきたノートと同じように記録したり、自分の考えをまとめ友だちと意見交換をしたりするツールにもなるでしょう。また、基礎学力定着のための個に応じたドリル学習も可能になるかもしれません。まずは、調べ学習やプレゼンテーション作成など、これまで取り組んできたことを個別に行うことで、一層の充実を図っていききたいと思います。



英語民間試験(GTEC)に取り組む6年生



調べたことをリーフレットにまとめる4年生